



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/平成26年3月31日

西副理事長を新理事長に選任

理事長就任合同祝賀会が盛大に開催

2月18日(火)に開催された第9回理事会において、西副理事長(㈱西衡器製作所社長)が新理事長に選任された。

理事長交代に伴い、「理事長就任合同祝賀会」が3月4日(火)、午後6時よりホテル青森で開催された。来賓及び組合員153名が出席し、元木前理事長の長年の功績への労いと西新理事長の就任を祝い、祝賀会は盛大に執り行われた。

開催にあたり主催者を代表し柳谷副理事長は「元木前理事長は昭和61年から役員を28年間、



理事長就任合同祝賀会



元木前理事長(中央)、西新理事長(右)

一方、西新理事長は、青森商

工会議所の副会頭を兼務し多忙かとは思いますが、問屋町の発展のため、しつこくは青森市の経済の発展のため、力を発揮してほしい」とあいさつした。

続いて来賓を代表して、三村青森県知事(馬場商工労働部長代読)、鹿内青森市長、蝦名青森中小企業団体中央会会長、若井青森商工会議所会頭から祝辞が述べられた。祝辞では、元木前理事長の問屋町及び地域経済発展への功績を称え、共に、西新理事長の舵取りによる問屋町の更なる躍進を期待する声が寄せられた。

この後、主催者並びに(一財)青森市産業振興財団より、両理事長へ花束が贈られ、元木前理事長へは西新理事長から記念品も贈呈された。

元木前理事長は謝辞で「組合員並びに関係各位に支えられ、長きにわたり理事長職を勤められた」と感謝の意を表し、西新理事長への変わらぬ支援を依頼した。

また、西新理事長は「問屋町ビジネススクールの立ち上げ等、様々な事業の運営に携わらせて

新理事長就任のごあいさつ



㈱青森総合卸センター 第8代理事長 西 秀記 (㈱西衡器製作所 社長)

このたび、2月18日に開催されました理事会におきまして、元木前理事長の後任として、協同組合青森総合卸センターの第8代理事長を拝命いたしました。大役を仰せつかり身の引き締まる思いですが、使命を全うすべく、全力を尽くす所存でございます。

私は、平成13年より役員として、また、平成20年からは副理事長として13年にわたり組合運営に携わってまいりました。当組合はこれまで、元木前理事長をはじめとする歴代の理事長や役員の方々のご尽力により、その時代時代の社会情勢、経済状況に臨機応変に対応し、常に変革と進化を続け、青森を代表する流通拠点として、また全国でも有数の卸団地としての地位を築き上げてまいりました。この常に革新し続ける方向性は引き続き、更なる発展を目指し組合運営に邁進していきます。

最後に組合員はじめ関係各位のご指導や助言を頂きながら、期待に応えるべく新たな事業へ積極的に取り組み、歴代の理事長に恥じる事のないよう一層精進し、ご芳情に報いたいと思っております。皆様のご支援、ご協力を心からお願いいたします。

もらい、自分に経験を積む機会を与えてくれた元木前理事長には心より感謝している」と述べ、新理事長としての抱負も合わせて語った。

その後、㈱青森銀行浜谷頭取による乾杯の発声で祝宴に入り、㈱みちのく銀行高田頭取の音頭による三本締めで祝賀会は盛況のうちに終了した。

西副理事長を理事長に選任
第9回理事会

2月18日(火)に問屋町会館役員室で開催された第9回理事会において、元木前理事長の退任に伴う新理事長の選任が審議され、西副理事長(榊西衛器製作所社長)が新理事長に選任された。

- 一、平成26年度事業計画の骨子について
- 二、事業委員会からの意見について
- 三、環境対策委員会からの意見について
- 四、組合員の倒産処理について
- 五、組合管理施設の改修費の

会員交流会や研修会で自己研鑽
青森問屋町経営同友会

問屋町の若手経営者及び後継者などで組織される青森問屋町経営同友会の第11回会員交流会が2月14日(金)にレストランフロリアで開催され、会員他20名が参加した。

これまで同会の会員交流会では、会員が各々の企業の商品やサービスを紹介し、相互理解を深めてきた。会員企業紹介も一巡したことから、今回からは講師を招き、講演会を開催することとした。

今回は桃川(株)の執行役員生産本部長の小泉氏を講師に招き「日本酒について」をテーマに講演が行われた。小泉氏は「日本酒は温める



会員交流会で日本酒を試飲

ことにより独特の香りが楽しめます。熱燗では、アルコール臭だけで舌を刺すような刺激となる。八代重紀の歌にもあるように、「お酒はぬるめの燗がいい」と説明した。

講演後には、平成25年全国新酒鑑評会で金賞を受賞した「大吟醸 雫酒(しずくざけ)」をはじめとする桃川(株)の清酒が試飲された。同セミナーは参加者1人1人が会社の社長となつて経営の疑似体験をし、企業経営をゲーム感覚で学ぶ内容。会社を設立し、設備投資、仕入れ、生産、販売、広告宣伝など、経営活動の意思決定を全て1人で、1期ごとに決算処理



ビジネス感性トレーニングセミナー

また、2月5日からは4日間、計17時間にわたり、「ビジネス感性トレーニングセミナー」を開催。(株)ビジネスブレインの佐藤社長を講師に招いて行われた研修には、会員及び会員企業従業員9名が参加した。

第3回婚活パーティー
開催される

2月7日(金)午後7時30分より、第3回婚活パーティーが開催された。市内のKenKenビア・ファクトリーで行われた同パーティーには、男性13名、女性13名の計26名が参加した。

パーティーでは、前回実施して好評だった1対1で話ができる機会(ローリングトーク)を今回も設けたところ、参加者同士が打ち解けるのも早く、会話が弾み、終始和やかな雰囲気の中、交流が行われていた。パーティーの最後には、それぞれ意中の人をカードに記入。今回は1組のカ



第3回婚活パーティー

ップルが誕生した。組合主催の婚活パーティーも今回で3回目となり、参加者からの意見を参考に改善を重ねてきた。今後もより楽しんでもらえる、有意義な出会いの場となるよう計画する。

仙台市で東北卸団地職員
研修会が開催される

東北卸商業団地連絡協議会事務局職員研修会が2月13日(木)、仙台市の中小企業大(木)仙台校にて開催された。東北各県の卸団地から11名の事務局職員が集まり、当組合からは五十嵐職員が参加した。はじめに、(協)仙台卸商センターの浅野事務局長から、東日本大震災から3年が経過し、復旧・復興へ向けた同組合の取組みが紹介された。

浅野事務局長は「当団地では、組合員施設の復旧・復興には高度化資金のほか、宮城県が募集した中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業を利用。特に後者は87の組合員が利用し、改修・改築を進めているところである。」

また、平成27年開業予定の地下鉄東西線の駅が新設されるほか、卸町コミュニティプラザ(復興公営住宅複合ビル)建設も決まり、新たな街に生まれ変わるべく、事業を推進している」と説明した。

おいしさはつらつ

チアーズ®

プライフーズ株式会社第一プロイラーカンパニー

青森営業所 〒030-0131 青森市問屋町1丁目14-20
電話017-738-4381 ファックス (017)738-9414

本社 〒039-1121 八戸市卸センター1丁目11-8
電話0178-28-2154(代) ファックス (0178)28-8573

暮らしと住まいの総合商社

東栄株式会社

東北支店
TEL (017) 762-3316

住設事業部 青森営業所
TEL (017) 762-3503

青森市第二問屋町3丁目3番42号

業務報告

…主要事項…

- 2月
 - 3日▽卸商業団地機能向上支援事業第4回特別委員会
 - ▽中央会関係団体合同新年講演会・新年会
 - 4日▽問屋町新年合同厄祓い
 - 5日▽第5回事業委員会
 - ▽問屋町経営同友会ビジネス感性トレーニングセミナー(全4回)
 - ▽青森県労働講座
 - 6日▽(株)青森共同計算センター定期取締役会
 - ▽市高度化事業団体連絡協議会地域産業懇談会
- 7日▽第3回問屋町婚活パーティー
- 8日▽簡易郵便局業務研修会
- 12日▽第4回労務対策委員会
- ▽問屋町支店長所長連絡会第3回幹事会
- 13日▽第5回環境対策委員会
- ▽東北卸商業団地連絡協議会事務局職員研修会
- 14日▽第2回企画情報委員会
- ▽第1回青森商工会議所ロジスティック戦略ワーキング会議
- ▽問屋町経営同友会第11回会員交流会
- 17日▽金融審査会
- 18日▽第9回理事会
- ▽卸センター(株)第3回取締役会
- ▽青森問屋町配送(株)第3回取締役会
- 19日▽津軽海峡ブランド博実行委員会
- 24日▽青森商工会議所業務流通商業部総会
- 25日▽(財)青森市産業振興財団評議員会
- ▽県雇用安定創出対策本部
- 26日▽全国中央会支援事業ヒアリング
- 27日▽青銀金友会総会・新年会
- ▽青森商工会議所第2回ロジスティック戦略ワーキング会議
- 6日▽金融機関の融資基準
- 8日▽中堅社員研修(1日目)
- 19日▽津軽海峡ブランド博実行委員会
- 24日▽青森商工会議所業務流通商業部総会
- 25日▽(財)青森市産業振興財団評議員会
- ▽県雇用安定創出対策本部
- 26日▽全国中央会支援事業ヒアリング
- 27日▽青銀金友会総会・新年会
- ▽青森商工会議所第2回ロジスティック戦略ワーキング会議
- 13日▽仕事のダンドリの基礎
- 15日▽中堅社員研修(2日目)
- 18日▽女性らしき活用術講座(1日目)
- 20日▽女性らしき活用術講座(2日目)
- 25日▽営業スキル研修足の営業力編(1日目)
- 27日▽営業スキル研修足の営業力編(2日目)

経済雑感

第五十五回

(株)青森経営研究所

代表取締役 北村 真夕美

(青森県男女共同参画推進協議会会長)

前号に続いて、サラリーマン時代のささやかな経験を通して「学び」について述べさせていただきます。「お客さまのために」がモットーの業務は期日のあるものが多く、お客さまの数も増加傾向でしたから、職員労働時間は長く、休日返上せざるを得ません

守秘義務の強い業務、精度や質の高さも求められましたから、職員の研修や自己啓発にも随分力を入れました。費用をヤリクリして「青年の船」などにも乗せて、見聞や視野を広める機会を提供したものです。



(株)青森経営研究所 代表取締役 北村 真夕美 氏

前号に続いて、サラリーマン時代のささやかな経験を通して「学び」について述べさせていただきます。「お客さまのために」がモットーの業務は期日のあるものが多く、お客さまの数も増加傾向でしたから、職員労働時間は長く、休日返上せざるを得ません

前夜、どんなに遅くまで仕事をしても翌朝には全員揃って事務所の掃除をするのも日課でした。建物の内、外を掃き清め、ガラスや鏡を磨き上げて、床はお湯で絞ったタオルで手拭き。お客さまが履くスリッパも同じく、丁寧に手拭きです。

そんな当たり前の事とお笑いでいいいただいても構わないので

ですが、「仕事に魂を込める」とは、こんなことから考えていました。いつも整理整頓が行き届いていて、気持ちの良い事務所とお客さまから好評でした。今も、アノ頃は入っていくと、爽やかな、感じの良い事務所だったと、懐かしんで下さる方からお手紙をいただいたりしますから、お客さまとは有り難いものです。

クーラーがありませんでした。おかしら、夏の暑さ対策は「熱いおしぼり」でした。せめて、汗を拭いていただこうと、へおしぼり蒸し器」は職員達がお金を出し合って購入したものでした。

新規採用職員のお知らせ

協青森総合卸センター
新規採用職員のお知らせ
業務部業務課
春山 心仁
(4月1日付)

限りなく夢が広がる イベントホール

青森産業会館

〒030-0113 青森市第二問屋町四丁目4-1
☎017(739)1811・FAX(739)1800

会議・研修 スポーツ・レクリエーション施設

青森市はまなす会館

〒030-0131 青森市問屋町一丁目10-10
☎017(738)4821・FAX(728)2162

一般財団法人 青森市産業振興財団

理事長 細井 仁
〒030-0113 青森市第二問屋町四丁目4-1
☎017(739)1811・FAX(739)1800

新時代のコミュニケーションツールに キングアイテムがお応えします!

株式会社キングコーポレーション

http://www.king-corp.co.jp

本社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目7-23 TEL. 052-961-7661 FAX. 052-961-7662
青森営業所 〒030-0131 青森市問屋町一丁目14-4 TEL. 017-764-1140 FAX. 017-738-1810

光、最先端をめざして IWASAKI

人々の生活を照らし 光テクノロジーの新しい扉を開く

EYE 岩崎電気株式会社

代表取締役: 渡邊文矢

本社: 〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-4-16 馬喰町第一ビルディング
Tel 03(5847)8611(代) Fax 03(5847)8645
青森営業所: 〒030-0113 青森市第二問屋町3-3-21
Tel 017(739)3431(代) Fax 017(739)3476

人気講師による営業マン 研修開催のお知らせ

開校から4年目を迎える問屋町ビジネススクールでは、平成26年度第1弾の講座として、日本営業ツール研究所代表の吉見範一氏による営業マン研修を開催する。

吉見氏は「対面型商談ツール」専門の営業コンサルタンとして活躍。日本全国の商工会議所から講演依頼が殺到し、講演会場は常に満員御礼。自他共に認める商工会議所ナバーワン講師である。

問屋町ビジネススクールでも、毎回定員の40名を大きく上回る申込のある超人気講座となっており、受講者アンケートでも、「今まで受けた営業関係の研修で1番面白く、まったく飽きなかった」「実践的な内容で明日からすぐに使いたい」など、高い評価を受けている講座である。

4月23日に開催される今回の講座は名刺交換に特化した内容。これまで何気なく行っていた名刺交換がお客様の警戒心を解き、商談の雰囲気ガラリと変えることができるようになるポイントを詳しく解説する。

講座詳細やお申込みは、問屋町ビジネススクールのホームページから。
<http://business-school.tonyachachi.com/>



吉見氏による営業マン研修の様子

今年も2名が合格

中小企業組合検定

今年も組合事務局職員が中小企業組合検定試験に挑戦した。3月3日(月)に合格者が発表され、張山総務課長と小又職員が見事合格を果たした。同検定は、中小企業組合の



合格証を手にし喜ぶ事務局職員

業務を執行する役員や実務を担う職員の自己啓発と資質向上を目的とした検定試験。試験に合格し、かつ3年以上の実務経験を有する者は、中小企業組合士として認定される。今年度の合格者も合わせ、当組合事務局職員の組合士有資格者は8名となり、今後も組合員のニーズに応えるべく、日々研鑽を続ける。

組合員訪問

今回は、昨年10月に所長に就任された三協立山株式会社青森営業所の石塚所長にお話を伺った。

アルミ建材メーカーの同社は、三協アルミニウム工業株式会社と立山アルミニウム工業株式会社と合併して誕生した、従業員約5千8百名を抱え、全国に事業所を展開するものづくり日本を代表する企業である。

同社は社内カンパニー制を採用しており、住宅・ビル・エクステリア等のサッシをはじめとした建材を取扱う「三協アルミ社」と、アルミやマグ

ネシウムで工業用部品を製造する「三協マテリアル社」、商業施設の陳列棚等の店舗什器や看板を制作する「タテヤマアドバンスト」の3社で構成されている。青森営業所は住宅やビル建材を主に取り扱っているが、お客様



三協立山(株) 青森営業所 所長 石塚 学 氏

の要望で、カーポート等のエクステリア商品を取り扱うこともあるそうだ。「当社は『ライフ・ウィズ・グリーン・テクノロジ』（環境技術でひらく、豊かな暮らし）をモットーに、人と社会にやさしい環境商品の開発に力を入れています。中でも、今一番おすすめているのが、『ARM・S@NAV』という

今年ドイツのifデザイン賞という国際的に権威ある賞を受賞することができました。これからは環境に配慮した商品を開発していきたい、お客様のニーズに添えていきたいです」とアピール。石塚所長の出身は青森市。青

自然換気ができるサッシです。この商品は、硝子と硝子の間のアルミフレームの中に換気システムが内蔵されており、自然の風の風圧を利用することで、窓の風を取り込んで換気でき、エアコン等の使用を抑えることができます。おかげさまでこの商品は、平成24年のグッドデザイン賞金賞や、

「社内で転勤は少なくはないのですが、全国展開の企業に勤めながら転勤経験がほとんどない。」「社内で転勤は少なくはないですよ。ただ、私が青森出身ということと、他県から転勤して来ても津軽弁を理解できない理由があるのかもしれない」と推測する。趣味はゴルフで、月に1、2回はプレイするそうだ。「ゴルフ歴は長いのですが、スコアはほとんどです」と苦笑。仕事上心掛けていることを尋ねると、「常に笑顔でいることです」と教えてくれた。(46歳)

編集後記

3月4日、西新理事長の就任と元木前理事長の退任慰労のための合同祝賀会が盛大に執り行われました。元木前理事長これまで本場に

ご苦労様でした。西新理事長これからご苦労様です。西理事長は四十台で既に青森商工会議所の副会頭を二期努められるなど、青森の経済界の期待される若きリーダーの一人であります。青森問屋町丸も西理事長を新船長に新たなスタートとなりました。▼転話題。中央会で「女性発想の事業革新セミナー」と題する興味深い講演がありました。講師は横浜の中小企業診断士・上岡美弥子氏「興味深かったのが『日々の買い物は、女性が『買う』『買わない』を決めている』という指摘でした。▼平成22年の内閣府の「男女の消費・貯蓄等の生活意識に関する調査」によると、夫婦・家族での「日常的な買物についての決定」は74%を妻が決めた、夫は4%だそうです。▼また「貯蓄と生活費との割合の決定」では45%が妻、24%が夫とのこと。財布のひもは完全に女性が握っているという事実が統計的に証明された訳です。▼このことから今後は消費財のマーケティングは、抽象的な消費者像から具体的な女性消費者・男性消費者像にシフトする必要があります。▼生産・販売する側でも今後は、決断する場では、女性の消費動向がより必要となってくるのではないかと感じます(藤本)

クルマのことならオートバックス



青森中央インターそば

オートバックス青森中央店

青森市第二問屋町1-1-1 電話 017-729-2130
営業時間 AM10:00~PM7:00



いつも変わらないおもてなしを。いつも新しい感動を。



HOTEL AOMORI

ご予約・お問い合わせ

TEL.017-775-4007

〒030-0812 青森市問屋町1-1-23